

④ 日本帝國主義の日本主義は、日本主義として、日本主義の本質を「一面主義」に在るべきである。日本主義の本質は、日本主義の本質を「一面主義」に在るべきである。日本主義の本質は、日本主義の本質を「一面主義」に在るべきである。

⑤ 理由、東洋の日本主義は、日本主義として、日本主義の本質を「一面主義」に在るべきである。日本主義の本質は、日本主義の本質を「一面主義」に在るべきである。日本主義の本質は、日本主義の本質を「一面主義」に在るべきである。

⑥ 理由、東洋の日本主義は、日本主義として、日本主義の本質を「一面主義」に在るべきである。日本主義の本質は、日本主義の本質を「一面主義」に在るべきである。日本主義の本質は、日本主義の本質を「一面主義」に在るべきである。

故に日本主義の階級的性質（日本主義）「日本主義」の方向を不承認し、帝國主義の階級的性質の方向を不承認し、日本主義の本質を「一面主義」に在るべきである。

この東洋主義は、日本主義の本質を「一面主義」に在るべきである。日本主義の本質は、日本主義の本質を「一面主義」に在るべきである。日本主義の本質は、日本主義の本質を「一面主義」に在るべきである。

② 日本主義の階級的性質

① 東洋主義の本質は、日本主義の本質を「一面主義」に在るべきである。日本主義の本質は、日本主義の本質を「一面主義」に在るべきである。日本主義の本質は、日本主義の本質を「一面主義」に在るべきである。

② 理由、東洋の日本主義は、日本主義として、日本主義の本質を「一面主義」に在るべきである。日本主義の本質は、日本主義の本質を「一面主義」に在るべきである。日本主義の本質は、日本主義の本質を「一面主義」に在るべきである。

らなう。この主体的条件の形成に着手せねばならぬ。その主体的条件の形成は、「口交交渉」一戦線」の形成、その下に日本口交交渉の崩壊一戦線を導いて「反米」の形成。

その下に日本口交交渉の崩壊一戦線を導いて「反米」の形成。その下に日本口交交渉の崩壊一戦線を導いて「反米」の形成。その下に日本口交交渉の崩壊一戦線を導いて「反米」の形成。

その下に日本口交交渉の崩壊一戦線を導いて「反米」の形成。その下に日本口交交渉の崩壊一戦線を導いて「反米」の形成。

反米主義同盟戦線

戦旗

社会主義學生同盟理論機関誌

理論戦線

そ

② 朝鮮戦争遂行体制の準備

王正義的入道学政改編、中教留留
 告日中、大學生校長中法新研究。

① A.S.D.A.C. 一外相訪米阻止斗争の過程、同様に日帝のソリア反革命への朝鮮戦争遂行体制の準備主義的再編としての「中教留留、大學生法新」の大学学芸を新研究してはならない。

この大学学芸、中教留留甲の本質は、日帝のソリア朝鮮危機に對應する兵力再編の重要の一環である事。この再編は、現代過渡期世界に於いて、帝國主義の侵略と革命を統一すべき、四洲に於ける兵力形態の朝鮮ソリアの財政改編を先行せしめるを目的とする。それは公学校とソリア國策の合理作の大学への攻襲を中軸とした「民主主義」組織、民主主義斗争の破壊、悉くで政治制民主主義体制の破壊である事は既に述べた通りである(戦士を参考)。我々はこの兵力再編の現在形に對して、一般政に兵力再編を確認しては居るが、教化しては居る朝鮮ソリアを対入の日帝の軍事戦略の存在性としての戦略を民権利用しては居る。國民諸階級に承認を要するに於いて、兵力再編も、この日帝の新しい戦略の存在性を實現するものとしての方向性を確するものである。つまり、日米共同軍事行動に基き、自行政府外交に朝鮮戦争遂行体制を伴う上でのものとして、同様に二共に及ぼす一つの者への権威的権限である。

④ 大学校新法、中教留留甲は、大学内「注」の一切の政治活動(集會、示威)を禁止し、同様に學生権限に兵力の行使を免却し、充分権限の権限の確保、則ち長入の集中を「注」に注進維持法に大學版である。これは日帝の軍事戦略の具體化に伴う國民諸階級に日帝兵力の急襲の拡大、同様にその前庭の過程の確々拡大するものとして、この過程に於けるソリアの我々回國の中心となる革命防在系の中軸階級たる革命で、組織的に破壊したるものでもある。同様に革命防在系と大衆との結合を實現したるべきである。市民社会を基礎に兵力に面するものに全日學園斗争としての形を、これは4/8斗争の再編新研究と組織防在革命を併進したるを、やはり新研究しようとするものである。

⑤ 我々はこの中教留留一大学校新法新研究を、兵力再編の朝鮮戦争遂行体制形成の対決として、未来社会を現在形に作換する下からの兵力再編のソリア工下運動を

目指してはならない。是れは、学芸のソリア工下運動、個別的事象の追求から中教留留甲一大学校新法新研究へのローカライズして、斗争の實現深化を實現する途には、兵力再編の民主主義的防在の全面的政治變遷の存在を認めるべき、中教留留甲一大学校新法新研究へのソリアイキの系統を認めた上で、形成されるべきだ。

同様に、このソリア工下運動を指導する入在ソリア全人民防政斗争の確保斗争は朝鮮危機に對する中教留留甲の防在の過程として在から促進し、革命防在編を實現せねばならぬ。又新統一戦線に組み込まれては、大学を確保新統一日帝対決の盾として打ち回す事が必要である。これは又、注、その再編を媒介しては全日中の全日中の結合に全日中に、同心意味の再編を持つ全日中の統一、是れ全日中を反政連合の形成としての又新統一戦線の確立、是れの大は一步を歩むべきである。

斗争のスケッチ

- 1. B.C.S.D. 政治集會(6)時 大阪中之島 中央公舎(1)
- 2. A.S.D.A.C. 新研究 外相訪米阻止、大學生法新研究連繫一行時 (京都一〇時、同大、大阪一〇時、龍野公園)
- 3. A.S.D.A.C. 一外相訪米新研究 大學生法新研究 全日中學生統一行動、全日中學生統一行動。
- 4. A.S.D.A.C. 一外相訪米阻止、大學生法新研究 全日中學生統一行動。
- 5. 外相訪米阻止現地斗争。
- 6. A.S.D.A.C. 新研究現地斗争。
- 7. 確保新研究、在談訪米阻止、全日中學生統一行動を破り、中方面、同族及親友聯合會。